



ジェームズ パーソンス
グループ取締役
フラミンゴ東京 代表取締役

フラミンゴグループ16年の歴史の内、15年間をチームの一員として過ごし、2007年にフラミンゴ東京を設立するに至る。お酒からペットフード、アイスクリームからソフトウェアにいたる様々な分野において国境をまたいだ国際的なプロジェクトをリードしてきた。広告専門雑誌でのコラムや、マーケティング学会で論文などを通して、日本の定性調査に新しいアプローチを提案する。

5大陸全てでの調査実績があることからわかるように、国際調査の経験数においてはこのリサーチ業界でもトップクラスであり、造詣も深い。近年では、日本国内はもちろんのこと、中国でのリサーチを多数経験。

米村雅之
プロジェクト・ディレクター

神戸生まれのアリゾナの砂漠～カンザス／オクラホマの草原育ち。カンザスでの牛の餌やりからニューヨークでのアパレル業界経験を経て、2002年からマーケットリサーチ業界に関わる。家電、飲料、旅行、医療などの様々な業界における定性調査の経験と、国際的な文化経験、更にモデレーターとしての経験をもとに、様々な業界の発展に貢献したいと考えている。彼の流暢な英語からはあの牧場の香りを嗅ぎ取ることが出来る。元ヘビーメタルギタリスト。



ラヴロック 佐祐里
リサーチチャー

幼いころから「人」と物質文化に関して好奇心を抱き、UCL(ロンドン大学)にて人類学と地理を専攻する。卒業後、2008年9月にフラミンゴ東京にインターンとして加わる。「佐祐里」という名前の由来には「左右に里がある」という意味が込められて、日本とイギリスを行き来しながら東西の文化を肌で感じ取る。自ら持つバックグラウンドに影響され、大学で日本在住及び英国在住の日英ハーフ達の自己同一性の比較研究を行う。エスノグラフィー手法を利用し、実施する。3歳からクラシックピアノを弾いたり、バンドのアルバム制作のためイラストレーションを依頼された事もあるクリエイティブな関西人／ロンドンっ子である。



根岸千晴
シニア・リサーチチャー

2006年、ロンドン大学で修士課程を終了後ロンドンオフィスにてフラミンゴに加わり、東京オフィス立ち上げと共に上京。リラックスした雰囲気の対象者を打ち解けさせ、中年男性とのフットケア話から高校生とのファッション話までこなす。ナイキ、i-pod、ヒルズペットフードなどのプロジェクトで重要な役割を果たしてきた。



ドラゴ ジュロフ
プロジェクト・ディレクター

世紀末、脱共産主義のブルガリアを去り、脱バブル期の日本に移り住んだドラゴは、ブランドと消費者の関係を脱近代的な視点でとらえてきた。一橋大学大学院では死への恐怖、退屈

感、創造性、認知心理学や言語を研究してきた。そして11年以上、この日本において社会心理、費者心理を研究し、実践し続けている。定量及び定性調査において豊富な経験を持ち、日本の文化やビジネス環境に対する知見も広い。様々な分野における国内及び海外プロジェクトを担当する他、ESOMARの学会での発表などを通して、クライアントや業界の発展に日々尽力している。

福沢 恵
シニア・リサーチチャー



生まれながらに、国際的な環境の中でバイリンガルに育ち、様々な文化に興味・関心が強い。多くを日本・アメリカで過ごす、インドでは、激しい値段交渉や、ほこりまみれの道をバイクで走りながらながらも、

民族女性をインタビューし、NPO活動に携わる。フィルム分析とビデオインタビューを参考にジェンダーとオリエンタリズムについて論文を書く。「恵」はめくと読んで下さい！

本田さおり
シニア・リサーチチャー



2002年にアメリカに渡り、マーケティングについて学ぶ。アメリカシアトルのNPOにて3ヶ月間のインターンシップを経験後、2003年からマーケットリサーチ業界に携わる。テレビ番組、携帯電話、IT、化粧品、アパレル、飲料、ペットケアなどの業界で経験があり、定量調査と定性調査の両方の経験が豊富である。定性調査では、特にエスノグラフィの経験が豊富である。